

議事概要 / 第4回協議会 / 釧路交通圏タクシー特定地域協議会

日時：平成22年10月27日 10:30～12:00

場所：釧路運輸支局 2階会議室

1 第4回協議会

1.1 会長挨拶（要旨）

- ・ 地域計画の進捗状況について説明する。その適否について審議願いたい。
- ・ 併せて、今後の展開方向や活性化の方策について助言等をいただきたい。

1.2 第1号議事「地域計画について」

1.2.1 事務局提案

- ・ 事務局長より、「議題1 特定事業の進捗状況について」から「議題2 事業再構築の進捗状況について」「議題3 特定事業関連事業の進捗状況について」までをまとめて説明。

1.2.2 質疑

1.2.2.1 座長

- ・ 事務局から説明があったが、業界から補足はあるか。

1.2.2.2 釧路地区ハイヤー協会

- ・ 説明にある保有台数は、法人だけの数字である。
- ・ 最近、個人タクシーにおいても廃業等があったようなので、説明して欲しい。

1.2.2.3 釧路個人タクシー協同組合

- ・ 直近で1名廃業した者がいる。また、最近病気で入院した者がいるが、個人タクシーとしての社会復帰は困難かもしれない。
- ・ 以上、合計2名の休廃業があり、会員数では73名であるが、現時点で営業出来る組合員は72名となっている。

1.2.2.4 座長

- ・ その他の補足はあるか。（補足意見等なし）

- ・ 質問意見等はあるか。(意見等なし)
- ・ では、進捗状況については確認済みとする。

1.2.2.5 事務局

- ・ 「議題4 取組内容の検証」について、資料8に基づき説明。

1.2.2.6 座長

- ・ 事務局の説明によれば、現在のところ効果として明確になっているものはない状況とのこと。
- ・ この点に関し意見等をいただきたい。

1.2.2.7 釧路消費者協会

- ・ 介護タクシーが特定事業だとの認識はなかったが、これに関しては大変に助かっている。家の中まで介助してもらえるので大変にありがたい。
- ・ 病院等での利用状況を見ていると、ひっきりなしに利用されており、時代のニーズに合っているのだと考えている。
- ・ 介護タクシーの効果がどの程度のものなのか、知りたいところ。

1.2.2.8 釧路地区ハイヤー協会

- ・ 介護タクシーとなると取り組んでいる事業者は限定されるが、乗降等の介助は全社取り組んでいる。
- ・ 高齢化の進展などの社会情勢を捉えると、一層積極的にやって行かなければならないと考えている。
- ・ 来月には、バリアフリー講習を予定していて、全社参加の予定である。

1.2.2.9 釧路北交ハイヤー

- ・ 協会の話のとおり。今後の少子高齢化の中でニーズは確実にあると考えている。
- ・ 一方、市内には介護専門の事業者もあり、タクシー事業者と競っている。そのような中、タクシー業界が揃って取り組むことが出来るものかどうか、疑問ではある。

1.2.2.10 釧路個人タクシー協同組合

- ・ 介護タクシーの件については、かつて組合全員で話し合ったことがある。
- ・ 一番の問題点は、介護士としての資格取得であった。
- ・ 個人タクシーは個々人として取り組むしかないが、零細事業者であり結

果的に腰が退けたのも事実である。

1.2.2.11 座長

- ・ 以上が業界の現状である。

1.2.2.12 釧路消費者協会

- ・ 介護士資格は大変かと思う。
- ・ 料金設定は考える余地があるように思う。介護であれば補助は出るが、それを抜きにしても、料金をもう少し上げてニーズはあると思う。

1.2.2.13 座長

- ・ 事業者から報告のあったとおり難しい問題があるが、重要なことでもある。今の意見を参考に、事業者各社や業界として引き続き検討していただければありがたい。

1.2.2.14 釧路地区ハイヤー協会

- ・ 事務局より「特定事業に関しては特定の効果は見られていない」との説明があった。
- ・ 以前から業界として様々な取組みを行ってきているが、今までまとめなかったことを考えると、取組みそのものが大きな成果であると考えている。
- ・ 具体的には、運賃の値上げや保有車両数の適正化などは目に見える大きな効果だと考えている。
- ・ 自社（金星）に限定すれば、乗客にアンケートをお願いしているが、この結果は乗務員教育に大いに活用させてもらっている。
- ・ 禁煙タクシーの実施に伴い、乗務員の受動喫煙被害が無くなった訳であるから、これも成果の一つであると考えている。
- ・ タクシーは毎日15,000人の旅客を運送している訳だが、そういった方々に快適な空間を提供しているという点においても、着実に成果を上げていると考えている。

1.2.2.15 座長

- ・ 今の話は、短期的な観点に置いて、また健康問題等の長期的な観点に置いて、特定事業計画により確実に成果を挙げていると思われる、との総括であった。
- ・ 次は、議題の2から4をひとまとめとして、意見があれば出して欲しい。

- ・ 資料にあるとおり、減車は適正と思われる車両数には満たないが、1両当たりの収入は上向いていると示している。この辺に関して、何か意見があるか。

1.2.2.16 釧路町商工会

- ・ 今回の取組みで、最低賃金に満たない状況は改善されたのか。一層の減車等の取組みが必要となるのか。その辺の認識を知りたい。

1.2.2.17 釧路地区ハイヤー協会

- ・ 金星ハイヤーで言えば、平均的なことを申せば、支給額で1万円から1万2千円程度の増加となっている。
- ・ 先日最低賃金が上昇した。しかし、売上で8%程度増加した分が賃金にも反映されており、十分にカバー出来る範囲だと考えている。
- ・ 全体の状況として断言することはできないが、少なくとも自社ではそのような状況となっている。

1.2.2.18 釧路北交ハイヤー

- ・ 乗務員個人毎にバラつきはあるが、平均した場合1万2~3千円の上昇が見られている。

1.2.2.19 全自交釧路地域協議会

- ・ 現状では、賃金が増えたのは事実。
- ・ しかし、将来を見通した場合、より一層の人口減少や最低賃金の上昇が考えられる。そうなれば、今回の上昇分は消えてしまう。
- ・ 労働者の立場からは、更なる休車・減車を実施して欲しいと考えている。それが出来れば共存共栄が図られるのではないかとと思う。

1.2.2.20 座長

- ・ 人口減少や最低賃金の問題が指摘された。
- ・ これらを考えると、やはり、今後も休車・減車を実施して行かなければならないと思う。一方、利用増を図る方向も考えられる。
- ・ これらをどうバランスさせるかについても引き続き考える必要がある。今後も状況を見守って行かなければならないと思われる。

1.2.2.21 釧路個人タクシー協同組合

- ・ 個人タクシーにおいても、8%程度の伸びは確実に起こっていると感じて

いる。しかし、当初の期待に比べればまだまだ少ないので、引き続き頑張りたい。

1.2.2.22 座長

- ・ 今の意見にあるとおり、まだまだ終わったということではないと思う。
- ・ 検証を行いつつ、当協議会等で考えていかなければならないのだと思う。

1.2.2.23 釧路町商工会

- ・ 禁煙タクシーに関して、運転者の喫煙対策をどのようにしているのか。

1.2.2.24 釧路地区ハイヤー協会

- ・ 釧路はコンビニが多く、100店舗程ある。これらと提携し警察の防犯対策に協力している。この一環で、運転者の喫煙はコンビニの駐車場を利用することとしている。
- ・ 禁煙タクシーの実施については、利用者とのトラブルはほとんど発生しなかった。利用者側に十分に浸透していたのだと思う。
- ・ 今後については、マナーを含めた運転者の管理が重要だと思っている。そのため、運転者に禁煙を押し付けるだけでなく、社内の禁煙を含め、管理者も会議等の場で喫煙をすることのないよう気を付けている。

1.2.2.25 釧路北交ハイヤー株式会社

- ・ 自社も全く同じ状況。
- ・ その他、運転者に対し携帯灰皿を配布し、喫煙は人の居ないところで行うよう指導している。

1.2.2.26 釧路個人タクシー協同組合

- ・ 個人タクシーにおいても全く同じ。
- ・ ハイヤー協会から携帯灰皿をもらったので、会員に配布している。
- ・ ただ、車外へ出て喫煙する場所は、現実的にはあまりない。よって、法人同様、コンビニを利用することを勧めている。

1.2.2.27 釧根地区ハイヤー協会

- ・ 1~2ヶ月かけて周知したので、利用者とのトラブルは聞いていない。
- ・ 一方、運転者が喫煙しているとトラブルの元となるだろうから、その観点での管理が重要になるだろうと考えている。

1.2.2.28 座長

- ・ 防犯協力を行うと共に喫煙場所を確保しているのは、巧いアイデアだと思う。
- ・ 意見がなければ、検証はここまでとする。
- ・ 引き続き、タクシーの利用促進策について検討したい。事務局から説明して欲しい。

1.2.2.29 事務局

- ・ 「議題5 利用促進の方策について」について、資料9を利用し「観光おもてなしタクシー」制度の取組みを、一例として説明。

1.2.2.30 座長

- ・ 最近の取組みについて、ハイヤー協会に説明をお願いしたい。また、近々予定されているバリアフリー教室についても、併せてお願いしたい。

1.2.2.31 釧路地区ハイヤー協会

- ・ 新聞にも報道が行われたが、10/17に、接客と運転技術についてのコンテストを行った。
- ・ 背景には、運転の値上げがある。値上げしたのに商品のサービスは以前と変わらないでは、利用者の理解は得られない。そのための接客技術のコンテストとした。
- ・ また、安全を考えた時に事故防止は重要である。加えて、バックの事故が多いという現実から、運転技術の向上は必須であると考えている。
- ・ コンテストは、運転者に対し、日々努力し続けなければならないことの重要性を認識させる啓発として役立ったのではないかと考えている。
- ・ 今般の取組みは全社一斉の取組みとする時間的余裕がなかったので、金星一社で行なった。しかし有効性は検証されたと思うので、次年度はハイヤー協会として取り組みたいと考えている。
- ・ 来月には、第一共栄交通の場所を借りて、バリアフリー教室が予定されている。高齢化社会に向けて介助のサービスは必要なことと考えているので、力を入れて取り組んで行きたい。
- ・ 値上げしたのでサービスも向上した、と理解を得られるような取組みを行って行きたい。

1.2.2.32 座長

- ・ 事務局からの説明に加え、業界としてどのような取組みを行っているか

について、説明してもらった。

- ・ この他に何か提案があれば聞かせて欲しい。

1.2.2.33 全自交釧路地域協議会

- ・ 特別なものは思い付かない。

1.2.2.34 釧路消費者協会

- ・ 今思い付くものはない。
- ・ 利便性の確保という観点でも、特段問題を感じていない。
- ・ バスにおいては高齢者や免許返納者の割引がある。一方、釧路はバスの便が悪い。そこで、タクシーにも同様の制度があれば利用者呼び込むことができるのではないかと考えている。
- ・ 相互で連携を取ることが出来れば、自家用車を手放そうと考える人も出て来ると思う。公共交通は絶対に必要なものであるから、巧く連携して維持して欲しい。

1.2.2.35 釧路町消費者協会

- ・ 以前、他の地方で観光タクシーを利用したことがある。この時は年配の運転者だったせいか、細かな地域情報を提供してくれて重宝したことがある。
- ・ 釧路においても、アンケートを取ると接客なども悪い評価ではないが、観光タクシーなどでは利用者が求めている情報を提供することも重要だと思われる。この点からの一層の取組みが有効ではないかと思う。

1.2.2.36 座長

- ・ 貴重な意見を提案いただいた。
- ・ しかし、「介護も観光も」となると、一人の運転者が全部を行うのは困難である。各社が何を指すか、的を絞って実行する必要もあると思う。
- ・ 観光に着目するのは良いことだと思う。よそから人を呼び込むのは観光が最も確実である。
- ・ 札幌から観光タクシー認定の制度が始まったが、釧路に展開された際には、各社が積極的に取り組んでもらえると良いと思う。

1.2.2.37 釧路市

- ・ 特定事業にも記述があるが、免許返納者は増加する傾向にある。
- ・ 現在は自分で運転している高齢者の中にも、本当は運転したくないと思

っている人は多い。これらの人を上手く取り込めるような方法を、業界に考えてもらえると良いのかと思う。

1.2.2.38 座長

- ・ 現在の厳しい経営環境の中、様々な取組みを行うことは困難であろうと思う。
- ・ 一方、高齢者について言えば、高齢者が増加するのは確実であり、また運転できなくなる高齢者は増加する傾向にあると思われる。
- ・ こういった状況の変化を捉え、費用負担等の難しい問題はあるが、どのようなシステムが望ましいか、皆で考えることが出来るとありがたい。
- ・ 引き続き、交通安全の面と労働安全の面から、釧路方面本部と労働基準監督署から意見をいただきたい。

1.2.2.39 釧路方面本部

- ・ 高齢者が増えているのは確かで、警察としても運転者・歩行者の両面からの事故防止を図っている。釧路方面本部管内の事故については、60～70%程度が高齢者の関係する事故となっている。
- ・ 北海道は、東京などと並んで事故発生件数が増えている。これを受けて、事故防止の取組みを強化しようと考えている。引き続き協力をお願いしたい。

1.2.2.40 釧路労働基準監督署

- ・ 最低賃金が最近上昇した。最低賃金は、ここ数年、毎年上昇している。
- ・ そのものの発端が生活保護費との乖離であり、これを解消するため毎年改訂されている状況にある。
- ・ 最低賃金の上昇が労働者の賃金上昇につながり、結果としてタクシーの利用につながってくれれば良い、と期待している。
- ・ 最低賃金に関しては、最近は頻繁な苦情はなくなったように思われる。「会社が頑張っているから止めておこう」との心情が働いてのことかもしれないが、今般の取組みの成果であるのかとも考えている。

1.2.2.41 座長

- ・ タクシーの本命は安全の確保であり、その点で引き続き頑張ってもらいたい、との話が警察からあった。
- ・ また、労働基準監督署からは最低賃金の話があったが、これは長い目で経過を観察する必要があるかと思う。それを見て、取組みをどう進めて

行くか考えなくてはならないと思うし、協議をしていきたい。

- ・ 今までの話を総括すると、タクシーのサービスが良くなってきた、イメージが良くなってきていると考えることが出来る。引き続き、この観点での取組みを進めて行く必要があるのかと考える。
- ・ 他に意見がなければ、議題5「利用促進策」については、終了とする。

1.3 第6号議事「第5回協議会について」

1.3.1 事務局提案

- ・ 資料10「協議会の開催イメージ」に基づき、事務局長より説明と提案。
- ・ 提案事項は、「次回開催は平成23年4月か5月頃としたいこと」。

1.3.2 質疑

- ・ （異議なく承認される）

1.4 第7号議事「その他」

1.4.1 事務局説明

- ・ 特段の提案なし。

1.4.2 釧路地区ハイヤー協会提案

- ・ 免許返納者の利用促進策に関しては、前橋市の例がある。
- ・ バス利用の助成に加え、タクシーの利用も可能となっている。タクシー利用については500円券10枚を贈呈するというもので、1年間で500名の利用があったとのこと。タクシー協議会の中で11社が打ち合わせて行ったとのことである。
- ・ 現状、障害者に対する運賃の1割引を行っているが、加えて、免許返納者の支援を事業者が行うことは財政的に苦しい。ついては、行政の支援策の中に、バスだけではなくタクシーも組み込んで欲しいと考えている。
- ・ 観光に関しては各社温度差があるのが現状。先頃札幌で認定制度が開始されたが、これは個人として資格を得ることもでき雇用にもつながると思う。併せて各社が取り組むならば、教育の一元化も図られることとなる。
- ・ 釧路市の人口は現在18万を割るような状態だが、滞在型の観光客を呼び込むことでこれに一定の歯止めを掛けることが出来るはずだ。この点の促進を図るため、関係者の知恵を借りながら、業界も頑張りたい。
- ・ 協議会では、業界の取組みに対して背中を押してもらっているので、この場を借りて感謝したい。

1.4.3 座長

- ・ 活性化策は、業界だけではなく関係者の連携により取り組まなければ上手く行かないもの。
- ・ 何か思い付くことがあれば、業界と検討したい。事務局を通じて挙げてもらえればと考える。

1.5 会長挨拶（要旨）

- ・ 先週、札幌で業界の全国大会が開催された。
- ・ 釧路の取組みは全国的にも注目されており、褒め言葉もいただいた。
- ・ 本日課題として挙がっていた最低賃金や介護タクシーの件については、全国的な課題として認識されている。
- ・ 当地の業界としても、行政に対する課題提起を行っていきたいと考えている。

2 配布資料

- ・ 資料1 特定事業の取組状況一覧
- ・ 資料2 特定事業計画と事業再構築の進捗状況
- ・ 資料3 保有車両数の推移
- ・ 資料4 運賃の改定状況
- ・ 資料5 禁煙タクシーの導入状況
- ・ 資料6 バリアフリーマップの作成計画進捗状況
- ・ 資料7 乗務員教育の一元化状況
- ・ 資料8 取組内容の検証
- ・ 資料9 「北海道観光おもてなしタクシー乗務員認定制度」導入について
- ・ 資料10 協議会の進行イメージ